

きょうだいさんのための本

2011年9月、たくさんの人の力を貸していただいて、念願だった「きょうだいさんのための本」という小冊子の1冊目をつくることができました。

「きょうだいの日」に來られないきょうだいさんにも、寂しい時、ひとりきりだと思ふ時、たくさんの人から注がれている愛情を確認できるようなものを渡せたらいいのになあという気持ちを何年もあたためていた私たち。その背中を、タケダ・ウェルビーイング・プログラムという助成プログラムの担当をしてくださっている方が「きつとくれますよ!」と押しつけてくださったことが大きな力になりました。

いざ作り出すと、文章も絵も、すらすらと出てきました。

これまで出会ったきょうだいさんが教えてくれたこと…例えば、頭をなでること、手をつなぐこと、ぎゅっと抱きしめること、大好きだとちゃんと言葉で伝えること…そんなささやかに見えることが、きょうだいさんにとってはすごく大きなことなんだよっていうこと。

例えば、「あなたは大切な子ども」「あなたのこと大好き」という親御さんや私たちの想いを、きょうだいさんたちは上手に受け取り、本当に可愛い笑顔で返してくれて、大人が元気をもらっちゃうこと。

それから、ひとりてがんばるきょうだいさんに私たちが伝えたいこと…ひとりじゃないよ、病気は誰のせいでもないよ、あなたはたったひとりの大切な子どもなんだよ、ここにいてくれてありがとう。たくさんの方の想いを詰め込んで、「きょうだいさんのための本」は完成しました。

当たり前のことですが、きょうだいさんは性格も、置かれている状況も、必要なことも、ひとりひとり違うので、どうすればできるだけたくさんの方のきょうだいさんに役立つものになるだろうかというところではたくさん悩みました。こんなふうを感じる子がいるかもしれない、こんなふうと思う子がいるかもしれない、そうやって考え出すと何も書けないような気持ちになったり…

だけど、とりあえずこの1冊をつくることで、きょうだいさんが選べるものが1つ増えるなら、このメッセージを必要としているきょうだいさんの力になれるかもしれないなら、まずは作ってみることが大切かもしれないとも思いました。この冊子をつくることで、これからもっとたくさんの方の、きょうだいさんのためのいろんなツールが出てくるきっかけになればととてもすてきなことです。

もうひとつ悩んだのは、今病気のお子さんのケアで精一杯で、きょうだいさんのケアをしてあげられていないと感じている親御さんにとって冊子が苦しい存在になってしまうのではないかという心配でした。きょうだいさんのことをそれだけ好きな気持ちを今すぐ伝えられる方法、「ちょっと試してみようかな」と思える方法を見つけられるものになるように、そしてきょうだいさんから親御さんも元気をもらえるように、そう願って何度も相談して作り直しました。



うれしい感想もたくさんいただきました

冊子を好きだと言ってくれた方、あったかい気持ちになりましたと言ってくれた方、涙が出ましたと言ってくれた方…シールや写真を貼って可愛く仕上げた冊子を看護師さんに自慢してくださった方もいらっしゃいました。

今入院中なので、書き込んで、お家で留守番してくれているきょうだいに渡そうと思います。

きょうだいのお誕生日プレゼントと一緒に渡そうと思っています。

きょうだいと一緒にお願いクーポンを作って使ってます!

お母さん、お父さん、おばさん、おじいちゃん、おばあちゃん、お医者さん、看護師さん、保健師さん、ボランティアさん、大人になったきょうだいさん…さまざまな立場の方が取り寄せてくださいました

おなかの中にいるきょうだいさんのために取り寄せてくださった方も!

きょうだいに渡したら、照れながらもうれしそうに読んでいました。

同じ病室の仲間にも渡したので追加で送ってください

きょうだいのこと大事に思う気持ち、どうやったら伝えられるかなと悩んでいてみつけました!

冊子は、病院や保健所の他、支援学校、図書館、宿泊施設、病気の子もきょうだいに関する学会や研究会、シンポジウムの会場などにも置いていただきました。病棟の看護師さんや保育士さん、チャイルド・ライフ・スペシャリストの方が配ってくださっていることもあちこちで教えていただいて感激しました。いつもありがとうございます。



「きょうだいさんのための本」は、きょうだいさんへのメッセージと、親御さんや周りの大人の方と一緒に書き込むページ(きょうだいさんが生まれた時どう思ったか書いてもらったり、お互いに好きなところを書き込みあったり、クーポンをつくらたり…)からできています。

ふだんはなかなか伝える機会のないお互いを「大好き」な気持ちを伝え合うきっかけに使ってもらえたら…と無料配布とカンパ配布を行い、2年間で4000冊が旅立っていきました(受け取ってくださったみなさま、カンパで応援してくださったみなさま、配ってくださったみなさま、本当にありがとうございました!)

つくれた冊子がなくなったところで、もう一度助成していただいて、再び4000冊増刷することができました。

1人でもたくさんの方ががんばっているきょうだいさんに、それから、きょうだいさんに大好きな気持ちを伝えたいなと思っていらっしゃる親御さんや周りの大人の方々に、届くという気持ちです。病院や施設などにも置いていただけたいのですが、せっかくなので、きょうだいさんに手渡すものなので、遠慮なく取り寄せていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



冊子の色校正用の原稿は、何枚もつながった大きな紙で届くのですよ。知らなかったのでイメージと違うものが届いてびっくり。ネコはよるこんでゴロリ。

